報道関係者各位

東京ビエンナーレ2020/2021
夏秋アーツプロジェクト　開催のお知らせ

栗原良彰氏「大きい人」2021年完成イメージ

東京ビエンナーレ2020/2021は来年7月の本会期を見据え、この夏秋からアーツプロジェクトおよびソーシャルプロジェクトを始動します。ポストコロナ社会を予見する現在進行形のアーツプロジェクトや新たに立ち上がる批評プロジェクトが、この時代の表現や社会に斬り込みます。是非ご注目ください。

※本芸術祭開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の情報に細心の注意を払い、専門家の意見を仰ぎながら、具体的な感染防疫対策をしてまいります。会期・会場等は変更になる場合もございます。

夏秋アーツプロジェクト

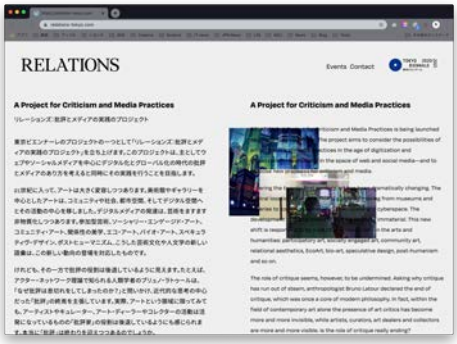
	プロジェクト名／アーティスト名	実施期間	場所・会場
◎	批評とメディアの実践プロジェクト[RELATIONS] 社会とアートの場づくり／毛利嘉孝他	7/30（木）～	特設WEBサイト
◎	〈コロナのない世界〉＝〈あの世〉で踊るボンダンス大会――BonDance/WITHOUT-CORONA-ONDO／山中カメラ	8/15（土）	特設WEBサイト
●	トナリ／西原珉	8/17（月）～23（日）	3331 Arts Chiyoda
●	大きい人／栗原良彰	8/21（金）～30（日）	丸ビル外構
●	Emote-Girl／Hogalee	8/21（金）～9/6（日）	丸ビル1F 丸キューブ
●	ロイダッツチャリティショップ／山崎亮	8/29（土）～9/6（日）	九段ハウス
△	着がえる家／西尾美也	8月下旬から9月中	海老原商店
●	トキメキ運送「新人研修」／トキメキ運送	8月下旬から9月中	上野エリア

◎・・・オンラインでの実施　　●・・・オフラインでの実施
△・・・オンラインまたはオフラインで実施（検討中）

【お問い合わせ先】　一般社団法人 東京ビエンナーレ
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内
TEL:03-5816-3220　FAX:03-5816-3221　E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>
https://tb2020.jp

夏秋アーツプロジェクト詳細

「批評とメディアの実践プロジェクト［RELATIONS］社会とアートの対話の場づくり」
プロジェクトディレクター・毛利嘉孝／東京藝術大学大学院・国際芸術創造研究科　教授



2020年7月30日開設
URL: https://relations-tokyo.com

批評とメディア実践のプロジェクト『RELATIONS』（RELATIONS: A Project for Criticism and Media Practices）を東京ビエンナーレ2020/2021の一環として発足します。
このプロジェクトは、グローバル化やデジタルメディアの発達、そしてCOVID-19や一連の自然災害に代表されるように私たちの生活環境の決定的な変化に伴って、大きく変容しているアートに対応した批評の新しいあり方を模索するプロジェクトです。
プロジェクトの始動に伴って、プロジェクトの国内外の編集委員による連続オンライン・レクチャーとシンポジウムを開催します。また、今後定期的に特集と論考を中心としたオンライン・ジャーナルが発行されます。今後の活動にご期待ください。

RELATIONS 始動記念オンライン・シンポジウム＆レクチャー・シリーズ

■RELATIONS LECTURE 1
危機の時代の芸術／Art in Times of Crisis
7月30日（木）20:00-21:00（日・仏／通訳あり）＊終了
講師：　クレリア・ゼルニック（パリ高等美術学校・芸術哲学・教授）

■RELATIONS LECTURE 2
津波の後に：日本現代美術2011年以降／After the Tsunami: Japanese Contemporary Art Since 2011
7月31日（金）20:00-21:00（英語／通訳なし）
講師：　エイドリアン・ファヴェル（リーズ大学・社会学・社会理論学部教授）

■RELATIONS SYMPOSIUM 1
批評とメディアの現在と未来
8月1日（土）13:00-14:30（日本語）
討議者：　加治屋健司（東京大学大学院・総合文化研究科・教授）
　　清水知子（筑波大学・人文社会系・准教授）
　　鴻野わか菜（早稲田大学・教育・総合科学学術院 教授）
　　南後由和（明治大学・情報コミュニケーション学部 准教授）
司　会：　毛利嘉孝（東京藝術大学大学院・国際芸術創造研究科・教授）

■RELATIONS LECTURE 3
オーディエンスと美学：クリエイティブサポートレッツとココルーム／
Audience and Aesthetics@CS Lets and the Cocoroom
8月3日（月）20:00-21:30（英語／通訳なし）
講師：　ジャスティン・ジェスティ（ワシントン大学・アジア言語文学・准教授）

■RELATIONS LECTURE 4
現代美術におけるコラボレーションとコミュニティ形成：日本とデンマークの比較から／
Collaboration and Community-Building in Contemporary Art
8月4日（火）20:00-21:00（英語／通訳なし）
講師：　グンヒルド・ボーグリーン（コペンハーゲン大学・芸術文化学部美術史・視覚文化准教授）

■RELATIONS LECTURE 5
災害と視覚性／Disaster and Visuality
8月5日（水）20:00-21:00（英語／通訳なし）
講師：　ジェニファー・ワイゼンフェルド（デューク大学・美術・美術史・ヴィジュアルスタディーズ学科教授）

【お問い合わせ先】　一般社団法人 東京ビエンナーレ
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内
TEL:03-5816-3220　FAX:03-5816-3221　E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>
https://tb2020.jp

▌山中カメラ
「〈コロナのない世界〉＝〈あの世〉で踊るボンダンス大会――BonDance/WITHOUT-CORONA-ONDO」

コロナウイルスの影響で日本中の盆踊り大会が中止となっている今、現代音頭作曲家の山中カメラが疫病退散を祈願するオリジナル新曲を発表します。もともと盆踊りはお盆にあの世の死者をこの世に迎えて一緒に踊るものですが、今年はこの世の私たちがアバターとなってVRアーティストのゴッドスコーピオンが作るバーチャルなあの世にボンダンスツアーに出かけます。

2020年8月15日（土）オンライン開催（詳細は後日発表）

▌西原珉「トナリ」

「3331夏のこども芸術学校」の関連イベントとして、予約制のワークショップとその成果を発表する『「こどもかいぎ　わたしたちでつくるまち」みんなと街をつくろう！3331に集まれ～』を開催します。夏以降は、3331 Arts Chiyoda内にて、人をケアしサポートするアートの場として、人と人のつながりや家族のつながり、コミュニティのつながりに貢献する活動を継続して行います。近日中にトナリのウェブサイトも公開予定。

2020年8月17日（月）～8月23日（日）
会場：アーツ千代田 3331（東京都千代田区外神田6-11-14）
主催：トナリ
協力：東京家政大学、こどものびじゅつ、アーツ千代田 3331、 一般社団法人東京ビエンナーレ
助成：千代田まちづくりサポート

▌栗原良彰「大きい人」

ヒートアイランド現象で暑くなった都心に、夏の暑さを利用したクールスポットが登場します。高さ3mの巨大彫刻「大きい人」が丸ビルに出現。彫刻に向かって打ち水のように柄杓で水をかけると、気化熱の仕組みで周囲を涼しくする。

「大丸有SDGs ACT5 × 東京ビエンナーレ2020/2021」

2020年8月21日（金）～8月30日（日）
会場：丸ビル外構　（東京都千代田区丸の内2-4-1）
主催：大丸有SDGs ACT5実行委員会
共催：一般社団法人東京ビエンナーレ
協力：特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、
　　一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

▌Hogalee「Emote-Girl」

イラストレーション的な表現でありながら、その時代の女性像を色濃く反映させ、イコン（女神）としての女性を描くアーティストHogaleeの東京ビエンナーレ作品第2弾。様々な表情を持つ大丸有エリアを題材に、丸ビルのガラス面に5つの表情をもった女性が出現します。

「大丸有SDGs ACT5 × 東京ビエンナーレ2020/2021」

2020年8月21日（金）～9月6日（日）
会場：丸ビル1F マルキューブ（東京都千代田区丸の内2-4-1）
主催：大丸有SDGs ACT5実行委員会
共催：一般社団法人東京ビエンナーレ
協力：特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、
　　一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】　一般社団法人 東京ビエンナーレ
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内
TEL:03-5816-3220　FAX:03-5816-3221　E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>
https://tb2020.jp

▌山崎亮「ロイダッツチャリティショップ」

これまで番町麹町や外神田などに回収ボックスを設置し、1,500 点以上のアイテムが集まりました。歴史が紡ぎ出すラグジュアリーな空間・九段ハウスにて、ダメージのある衣服に、地域の子どもたちの絵やクリエイターの写真を組み合わせたアップサイクル商品も展示します。

2020年8月29日（土）～2020年9月6日（日）
会場：九段ハウス（東京都千代田区九段北1-15-9）
主催：studio-L
共催：株式会社NI-WA
協力：一般社団法人東京ビエンナーレ

▌西尾美也「着がえる家」

装いとコミュニケーションをテーマに活動を続けてきた西尾美也が、明治期に建てられた海老原商店を拠点にした新たなコミュニティアートを立ち上げます。この夏のワークショップ「感覚の洗濯」を皮切りに、地域の人たちが参加する場所として海老原商店が装いを新たにします。

2020年8月下旬～9月
会場：海老原商店（東京都千代田区神田須田町2-13）
主催：「着がえる家」実行委員会
協力：海老原商店を活かす会、一般社団法人東京ビエンナーレ
助成：千代田まちづくりサポート

▌トキメキ運送「新人研修」

闇市時代から続くアメ横。ある商店からひとつの箱を預かり、伝票を読みながら街を歩いて、そこからほど近い商店の倉庫へ箱を届けてもらいます。この「新人研修」の体験者は、商店から倉庫までを結ぶ距離と商店の歴史という時間軸を重ね合わせながら箱を運び、その体験にトキメキを感じる仕掛けを発見します。

2020年8月下旬～9月
会場：犬塚商店～犬塚ビル（東京都台東区上野）
主催：トキメキ運送
協力：犬塚ビル、一般社団法人東京ビエンナーレ

テーマ
東京ビエンナーレ2020/2021
見なれぬ景色へ
―純粋×切実×逸脱―

東京の街の中で何かが起こること、それを起こすのはアートだ、ということを告知するキャッチ・フレーズが「見なれぬ景色へ」です。
　すでに存在している都市の街並みに思わぬ仕掛けを突きつけて、あ、この景色の変化は何だ？と思わせるのはアーティストの仕事。また意識もせずになじんできた通り道に違和感を感じたら、それがアートの仕業だったということも起きるでしょう。日常の空間や景色を新しい目で見て未来へつなぐ、今からやり直せることを発見する。この厳しい夏だからこそと、アートへの強い願いをこめています。

東京ビエンナーレは、東京を舞台に2年に1度開催される国際芸術祭です。
2020年夏に第一回目を迎える予定でしたが、新型コロナウィルス感染症の拡大から、コア期間を2021年7月～9月に設定し、それまではプレ期間としてアーツプロジェクトやワークショップ、シンポジウムを開催しています。

東京ビエンナーレ2020/2021
主催：一般社団法人東京ビエンナーレ
ウェブサイト：http:tb2020.jp

【お問い合わせ先】　一般社団法人 東京ビエンナーレ
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内
TEL:03-5816-3220　FAX:03-5816-3221　E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>
https://tb2020.jp